

| | |
|--|--|
| <p>16日 (日)</p> <p>出エジプト 10章</p> | <p>「わたしがどのようなしを行なったかをあなたが子孫に語り伝え、わたしが主であることをあなたたちが知るためである」(2節)。神が下された災いは、自分をイスラエルの主であるとイスラエルの民が知り、語り伝えるためという。わざわざファラオの心をかたくなにする神の思いをはかり知ることはできないけれども、すべての時には、主の計画の内にあることを知る。</p> |
| <p>17日 (月)</p> <p>出エジプト 11章</p> | <p>「その後、王はあなたたちをここから去らせる。いや……一人残らずここから追い出す」(1節)。主はファラオの心をかたくなにしつつも、イスラエルの民をエジプトから救い出そうとされる。モーセ、アロンを通して語られる神の言葉は、命の神である主の言葉。モーセ、アロンが期待し続けた解放が成し遂げられようとしている。そこにはエジプト人の叫びが伴う。</p> |
| <p>18日 (火)</p> <p>出エジプト 12章</p> | <p>「あなたたちのいる家に塗った血は、あなたたちのしるしとなる。…わたしがエジプトの国を打つとき、滅ぼす者の災いはあなたたちに及ばない」(13節)。主が過ぎ越される時、最後の災いが下される。イスラエルの民の家には、しるしをくださった。この主の救いとエジプトからの解放のしるしは、イエス・キリストにつながる大切なしるし。</p> |
| <p>19日 (水)</p> <p>出エジプト 13章</p> | <p>「昼は雲の柱が、夜は火の柱が、民の先頭を離れることはなかった」(22節)。エジプトから導き出されたイスラエルの民の歩みは、神に導かれた歩みだった。主の計画に期待するよりも、エジプトでの生活に心を奪われることのないように、主なる神ご自身が民の歩みの先頭に立ち、昼も夜も彼らの歩みを照らし続けておられた。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>20日 (木)</p> <p>出エジプト 14章</p> | <p>「恐れてはならない。落ち着いて、今日、あなたたちのために行われる主の救いを見なさい…主があなたたちのために戦われる。あなたたちは静かにしていなさい」(13-14節)。エジプト軍と海に挟まれた神の民は、窮地に陥ると、主の救いと計画を手離そうとした。私に「恐れ」を与えるものと直面するとき、主は「恐れてはならない」と主に立ちかえらせてくださる。</p> |
| <p>21日 (金)</p> <p>出エジプト 15章</p> | <p>「あなたの神、主の声に必ず聴き従い、彼の目にかなう正しいことを行い、彼の命令に耳を傾け、すべての掟を守るならばわたしは…病をあなたには下さない。わたしはあなたをいやす主である」(26節)。神に不平不満を言う民に、主は甘い水を与える。命の主はわたしたちに命の水を与えてくださる。キリストの福音という水はわたしたちの渇きを満たしてくれる。</p> |
| <p>22日 (土)</p> <p>出エジプト 16章</p> | <p>「夕方になると、うずらが飛んで来て、宿営を覆い、朝には宿営の周りに露が下りた」(13節)「彼らは朝ごとにそれぞれ必要な分を集めた」(21節)。荒れ野を進むイスラエルの民に、主は一人ひとりに必要な分だけ朝ごとに満たしてくださる。「主の慈しみは決して尽きない。主の憐みは決して絶えない。それは朝ごとに新たになる」(哀歌3:22-23)を心に留めて。</p> |
| <p>23日 (日)</p> <p>出エジプト 17章</p> | <p>「見よ、わたしはホレブの山であなたの前に立つ。あなたはその岩を打て。そこから水が出て、民は飲むことができる」(6節)。「岩を打つ」とはどういうことだろう。私たちの前に立っておられる主なる神をどこまでも信じ切ること？主イエスは「わたしを信じる者は、その人の内から生きた水が流れ出る」と言われた(ヨハネ7:38)。今日その生きた水を飲む者とされて。</p> |